

第4回 標準委員会 発電炉専門部会
統計的安全評価手法標準分科会 P9SC4
議事録

日時 2006年6月13日（火） 13：30 ～ 17：00

場所 日本原子力技術協会 A・B会議室

出席者 三島主査、山口副主査、笠井幹事、江畑委員、大澤委員、田中委員、谷本委員、
深堀委員代理、古川委員、堀田委員、松浦委員、松本委員、本谷委員、
門谷委員代理、山本委員、綿田委員、渡辺委員

常時参加者 藤井（関西電力）、溝上（東京電力）、池田（テプシス）、梅澤(MHI)、
坂場(MHI)、金子（GNF-J）、鈴木（原燃工）、小野（東芝）

傍聴者 吉村（原子力安全委員会事務局技術参与）、電力・メーカー関係者
（敬称略）

配布資料

第4回 統計的安全評価手法標準分科会(P9SC4) 議事次第

P9SC4-1：第3回統計的安全評価手法標準分科会P9SC3 議事録（案）

P9SC4-2：統計的安全評価手法分科会の進め方について

P9SC4-3：課題整理表

P9SC4-4：標準案における用語の定義（案）

P9SC4-5：適用範囲

P9SC4-6：PIRT作成要領

P9SC4-7：欧州におけるBest-Estimateコード不確かさ評価手法の調査

P9SC4-8：PWRへの適用例

議事及び主な質疑応答

(1) 議事録の確認

笠井幹事より、P9SC4-1「第3回統計的安全評価手法標準分科会P9SC3 議事録（案）」により、前回分科会の議事録の確認が行われ、承認された。

(2) 分科会の進め方についての説明

笠井幹事より、P9SC4-2「統計的安全評価手法分科会の進め方について」により、分科会の進捗確認、発電炉専門部会への中間報告時期について説明された。

(3) 課題整理表の説明

笠井幹事より、P9SC4-3「課題整理表」により、前回分科会までに出された課題のまとめの確認があった。

(4) 用語の定義の説明

P9SC4-4「標準案における用語の定義（案）」に基づいて、松本委員より、前回資料（P9SC3-4）からの変更点を中心に、標準に係る用語の説明があった。

(5) 適用範囲の説明

P9SC4-5「適用範囲」に基づいて、坂場常時参加者より、標準の適用範囲についての説明があった。

(6) PIRT作成要領の説明

P9SC4-6「PIRT作成要領」に基づいて、小野常時参加者より、PIRTについての説明があった。山口副主査から、PIRTの検討における抜け落ちがないことのチェック方法などの具体的な位置づけを明記する旨の提言があった。

(7) 欧州におけるBest-Estimateコード不確かさ評価手法調査の紹介

P9SC4-7「欧州におけるBest-Estimateコード不確かさ評価手法調査」に基づいて、堀田委員より、欧州手法についての説明があった。

(8) その他

笠井幹事より、次回分科会を8/8（火）午後開催することの確認があった。今回議論できなかったPWRの適用例は、次回の分科会で議論することになった。また、次々回を、10/17（火）午後仮決めした。

以上